

学校名 龍郷町立円小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>生活科や総合的な学習の時間の一環として、校区内海岸の漂着ゴミを回収・分析して環境問題を考える学習につなげる活動は、海岸の美化推進活動としてだけではなく、児童自身が奄美群島島民の一員として自然への美化・保護意識を高める活動として成果を上げている。また、奄美海上保安部と連携を図り、平成16年度から21年間継続している地域に根付いた活動である。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>校区内の海岸は、ウミガメの産卵が見られる美しい海岸だったが、国内外の多くの漂着物とその産卵場所としての環境や景観を害し、地域住民の悩みであった。</p> <p>そこで、奄美群島で生きている一員として「豊かな郷土の自然や文化を保護するために何ができるか」という美化・参画意識のある児童の育成を目指し、環境教育の一環として位置付け、実施している。</p> <p>平成16年6月から実施し、毎年欠かさず実施している。</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい。	「円ブルーシー」
③ 月間又は年間活動回数	<p>海水浴やウミガメの産卵シーズン前の5～6月に毎年1回実施している。</p> <p>この活動は、総合的な学習の時間の学習（中学年「ふるさとの円の海を探検（10時間）」高学年「奄美の自然（7時間）」につながっている。</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	円集落の海岸一帯
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	全児童，全職員，保護者・地域住民 海上保安部職員（総勢 30 人前後）
⑥ 活動1回当たりの平均時間	100 分
⑦ 収集ごみの処分	民間業者へ委託
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>海上保安部の協力を得ながら，回収した漂着物は 大まかな種類別に計量して，毎年データを蓄積して いる。毎年，200kg 前後を回収している。</p> <p>この活動をもとに，総合的な学習の時間に成果の 発表をしたり，探究活動として「環境レター」に応 募したりしたことにより，県の「こども環境大臣」 に任命されるなど活躍する児童を輩出している。</p>
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化 への貢献	<p>地域貢献を意識して，集落の浜おれや海水浴シー ズン前に実施している。清掃後には，ウミガメの産 卵が見られた年もあり，奄美の自然保全に貢献でき ている。</p> <p>また，毎月第3日曜日の「集落清掃の日」には， 子ども会として河川や道路の清掃活動にも積極的に 参加している。</p>
② 地域住民との協力 活動	「円ブルーシー」活動を，地域も参加する学習発 表会で紹介している。地域住民の認知・理解もあり 毎年参加の協力を得ている。
③ 児童・生徒の活動 に対する地域住民 の反応	「円ブルーシー」活動を学習発表会や学校便り， 学校HPで紹介している。地域住民の方々から感謝 のことばをいただいている。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>「円ブルーシー」活動が全校児童の共通体験となり、そこから課題を見出し発展的な学習につなげることにより、環境問題等への意識が高まっている。</p> <p>中学年「ふるさと円の海を探検」（10時間） 高学年「奄美の自然」（7時間）</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>「円ブルーシー」活動後に、環境保全のために自分たちにできることをまとめ、町主催の「自由研究発表会」や「子ども博物学士講座」で発表して周りから評価されること等を通して、自分たちの活動に自信をもつとともに、奄美群島の環境保全への意識を高めている。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>ボランティア活動（校区内の清掃活動）</p>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか （受賞年月日と表彰機関名）	<p>令和2年7月23日 海上保安庁長官賞 令和6年7月22日 国土交通大臣表彰</p>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p>総合的な学習の時間や創意、学級活動の時間</p>
3 その他特記事項	<p>毎年、新聞などマスメディアに取り上げられたり、学校内外で活動を発表したりする機会があり、児童の自信や学校のPRにつながっている。</p>